



ほたるの幼虫は順調に育っています

ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会 会長 森田 弘

『うずまのほたる』は、例年6月「ほたるを観る会」、10月「えのき祭」に向けて発行して参りました。

えのき祭当日に配布してきましたので、「えのき祭」の記事が間に合わず、載せられませんでした。今年「えのき祭」後の発行となり、その様子を記事に掲載することができました。広報班の皆様方の編集で素晴らしいものになるとと思います

さて、6月の幻想的な光を楽しませてくれたほたるですが、産卵後、幼虫となりました。今年の厳しい夏のため水温管理が大変でしたが、5年生と飼育班の頑張りで今のところ順調に成長しております。来年の放流が楽しみです。

今後とも「ほたるを観る会」の活動に、皆様のご協力をお願いいたします。

ほたるが舞う日を目指して

中小学校PTA顧問 桑原 敏郎

蛍橋という名を見たときに「きっと昔はほたるが観られたのだろう。」と、昔話のように思っておりました。そんな折に、中小学校のPTAとして「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」に参加させていただく機会を得て、飛び交うほたるを見たときに、その優艶さと風情に大変感銘を受けました。

ここにあるのは、中小の児童や地域の皆さんの力で守られている環境であり、昔話にある風景ではないのだと。このような光景は一朝一夕にはできないものです。たくさんの人の想いと行動が形作っているものだと思います。

子どもたちのために地域社会と家庭、学校が連携し、ほたるが再び舞うことを目指し、次世代へと受け継いでいけるよう、これからも力を尽くしたいと思います。

ほたるを観る会



ビオトープの中、体感…目の前で光りの軌跡
 ・手の平に触れて

今年すでに観る会の1週間ほど前に、理科室の1メートル四方の3つのミニビオトープにそれぞれ30匹ほどのほたるの光が点滅し、美しい弧を描いて舞い上がりました。「ミニほたるを観る会」の参観者は、その姿に感銘を受けました。

中地区の恒例行事『ほたるを観る会』は6月9日です。前日から中小前「あいさつ通り」に設置した提灯に明りが灯り会場の雰囲気盛り上がり、ほたるを観る会の参観者が会場いっぱい訪れました。式典後、中小6年生のほたる活動実践発表がありました。長年の先輩の研究を受け継ぎ、更に新しい取り組みの実践がなされた小学生のはきはきした発表に拍手喝采でした。

各種イベントでは保護者や祖父母の皆さんが会場にお出でになり、展示物をご覧になったり、ほたる籠編みでは親子そろって取り組んだりする姿が見られました。一方、卒業生が「ほたる」の折り紙づくりを教えてくださいました。外では夜店に行列ができてテントの食堂が賑わいました。売れ行き上々、たちまち売り切れでした。

来年はほたるの飼育がんばるぞ

5年

6月8日金曜日に「ほたるを観る会」がありました。僕は5回目でしたが、一番楽しかったです。ヘンリー先生の友達にも会い、写真をとりました。

イベントもとても楽しかったです。そしてなんとと言ってもほたるがとってもきれいに光っていました。

来年は僕たちが育てたほたるを皆さんに観てもらおうのでほたるの飼育をがんばりたいです。

五七五

～ 来年も ほたるの光りで
 いっぱいに ～



心に残った発表

6年

6月8日に「ほたるを観る会」がありました。一番心に残った場面は、ほたるの飼育の研究・実践発表です。理由は練習より上手にできたからです。

小学校最後の「ほたるを観る会」はみんなと楽しめたので良かったです。

中学校に行ってもこの次の「ほたるを観る会」に来たいです。

五七五

～ 発表が 心に残った
 ほたるを観る会 ～

ほたるを観る会に参加して

中地区自治会連絡協議会 会長 宇賀 静男

中小学校のビオトープで毎年恒例となっている「ほたるを観る会」に地域の方々や子どもたちと参加させていただきました。

当日は、ほたるのお話をお聞きした後ビオトープに移動し、ほたるを観賞しました。ほたるが飛び立つと、参加者から歓声上がり、ビオトープ内はとても幻想的な雰囲気に包まれました。

わたしも、久々にほたるを見ましたが、こんなにきれいだとは思いませんでした。本当に楽しい時を過ごせました。地域の皆さんも一度ビオトープに足を運んで、実際にほたるをご覧になってみてはいかがでしょうか。

今後もビオトープ、そして巴波川で飛び交うほたるを見ることができるよう地域の皆さんとともに応援していきます。

恵みがいっぱい

収穫152kg

自然の恵み・地域の方々の恵み・学校とPTAの人たちの恵み・小学生の皆さんの恵みを受けてお米は実りました。

今年、連日の記録的な猛暑の中、厳しい状況をくぐり抜けて立派な稲穂がこうべを垂れました。収穫量は152kg、これは田んぼの学校開設以来第2位の取れ高になります。表題にあげた色々な人々の恵みがあつての収穫量152kgです。前の年に採っておいたお米の種を田植えの苗に育てた農家の人の恵みも付け加えたいと思います。

「えのき祭」では「恵み」をテーマにして感謝の心を表わした色々な開会セレモニーが行われました。「おみこしワッショイ」から始まり、市歌斉唱、えのき祭実行委員長 齋藤美優さん から感謝の言葉、市村校長先生・PTA会長 大森和義 様・市議会議員 大出ハマ 様 のご挨拶がありました。美田中生の「和太鼓演奏」、6年生の発表「えのき祭までのあゆみ」、「おにぎり包み紙図案採用者」3人の表彰、全校合唱「歌よ ありがとう」で開会セレモニーは終了。休憩の後、中地区まちづくり振興協議会の皆さんによる「中地区大判かるたとり大会」で会場いっぱいに大歓声がこだました。



いねかりは、手伝いをしてくれる人がいなくてしんどいでしたが、上手にかんことができてうれしかったです。だこくは、いねが重くて運ぶのが大変だったけど、沢山運べてよかったです。来年から、手伝ってもらおうのでなく、下級生に教えてあげたいのもで、うまくいけるようがんばります。

〽 五七五
〽 中小米
〽 ぐんぐん育てて うれしいな 〽

じぶんで上手にかれました
三年

私がいねかりでがんばったことは二つあります。一つ目は、けがをせずにいっぱいかれました。大切なお米を一つも落とさずにできました。二つ目は、お米をそだててくれた人たちに有り難うございました。と言えたことです。そして大きくなつたねと言いながら、いねをかれました。

〽 五七五
〽 ありがとう
〽 こんなに大きく そだつたよ 〽

いねかりでがんばったこと
四年



中地区の恵みに感謝 えのき祭 テーマ「恵み」

10月20日(土)

おにぎり包み紙 図案採用者

3年 4年
5年 6年

美田中生徒の太鼓演奏、6基の大太鼓を打つ生徒の姿が頼もしく、轟く太鼓の音が会場に響き渡りました。

おみこし わっしょい

1年

はじめてのえのきさいでした。しゅうかくさいのスタートをわたしたちのおみこしわっしょいでかざりました。

ちいきのめぐみにかんしゃして大きなこえで「ワッショイ ワッショイ」といいました。お兄さん、おねえさんもいっしょにうたってくれたので、うれしかったです。

おひるにたべたおにぎりは、とてもおいしかったです。

五七五

～ えのきさい
おみこし おにぎり
さいこうだ ～



1・2年生「おみこしワッショイ」



美田中生の勇壮な「和太鼓演奏」



全児童・先生方の合唱「歌よ ありがとう」



6年生の発表「えのき祭までのあゆみ」



まちづくり振興協議会「中地区カルタ」

たのしかった二つのこと

2年

ぼくが、えのきさいでたのしかったことは二つあります。

一つ目は、おみこしをかついだことです。みんなが「ワッショイ ワッショイ」と、こえをかけてくれてうれしかったです。

二つ目は、中学生のたいこのえんそうです。すごいなあとおもいました。

えのきさいはとてもたのしかったです。

五七五

～ おみこしを
みんなでかついで
うれしいな ～

— うずまのほたる — 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・岸 慶次・高橋 好弘
柏崎 奈美・玉野 恵・金子 弘隆・小林真理子

＝ 編集後記 ＝

皆様のご協力のおかげで、無事 第32号を発行することができました。えのき祭の様子も初めて掲載することができ、うれしく思います。これからも「うずまのほたる」よろしくお願い致します。